年間授業計画

翔陽　高等学校 令和５年度（１年次用） 教科　総合的な探究の時間　科目　総合的な探究の時間

教　科：総合的な探究の時間　　科　目：総合的な探究の時間　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 年次　1 組～　6 組

使用教科書：（　　）

教科　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】探求の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】探求に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探求の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解するようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探求に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	①「探究」やはばたきプランの意義・目的を理解する。 ②自分の進路にむけて、今までの学習を振り返り、今後の学習計画を立案できる。 ③テーマ探究の導入	①総合的な探究の時間・はばたきプランのオリエンテーション ②進路研究。進路適性検査・実力テストの振り返り ③テーマ探究の活動に向けた取り組み	〈座学〉テーマごとに「ワークシート」を作成し、提出。ポートフォリオにまとめ、自己評価を行う。一部で相互評価を取り入れる。	○	○	○	7
	①テーマ探究の活動 ②実習生の話や科目選択の説明を聞き、希望進路についてを考え文理選択を理解し選択の準備ができる。 ③学部･学科研究の意義夜目的を理解し、実際に取り組むことができる。	①テーマ探究（街づくり） ②文理選択、高校生活デザイン ③学部･学科について理解する。進路研究	〈座学〉テーマごとに「ワークシート」を作成し、提出。ポートフォリオにまとめ、自己評価を行う。一部で相互評価を取り入れる。	○	○	○	5
	定期考査						
2学期	①返却された7月の模試結果から自分の学習について振り返り、今後の学習計画を立てることができる。 ②様々な大学の出張講義を受けたり、実際に大学訪問をすることにより進学先での生活や雰囲気を体	①模試返却指導 ②大学出張講義・大学訪問	〈座学〉テーマごとに「ワークシート」を作成し、提出。ポートフォリオにまとめ、自己評価を行う。一部で相互評価を取り入れる。	○	○	○	6
	③地域探究 ④返却された11月の模試結果から自分の学習について振り返り、冬休み～3学期にむけての学習計画を立てることができる。	③地域探究（八王子市の地域探究） ④模試返却指導	〈座学〉テーマごとに「ワークシート」を作成し、提出。ポートフォリオにまとめ、自己評価を行う。一部で相互評価を取り入れる。	○	○	○	8
3学期	①16歳の仕事塾 ②地域探究	①16歳の仕事塾 プレゼンテーション指導 ②地域探究 代表グループの発表		○	○	○	7
	③主権者教育	③主権者教育 模擬投票等実施		○	○	○	2
							合計
							35

年間授業計画

翔陽　高等学校 令和５年度（２年次用） 教科　総合的な探究の時間　科目　総合的な探究の時間

教　科：総合的な探究の時間　　科　目：総合的な探究の時間　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　1 年次　1 組～　6 組

使用教科書：（　　）

教科　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】探求の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解するようにする。

【思考力、判断力、表現力等】実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】探求に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目　総合的な探究の時間　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
探求の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解するようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。	探求に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	①「探究」やはばたきプランの意義・目的を理解する。 ②自分の進路にむけて、今までの学習を振り返り、今後の学習計画を立案できる。 ③テーマ探究	①総合的な探究の時間・はばたきプランのオリエンテーション ②進路研究。進路適性検査・実力テストの振り返り ③テーマ探究の活動に向けた導入	〈座学〉テーマごとに「ワークシート」を作成し、提出。ポートフォリオにまとめ、自己評価を行う。一部で相互評価を取り入れる。	○	○	○	7
	定期考査						
	①テーマ探究 ②実習生の話や科目選択の説明を聞き、希望進路についてを考え科目選択を理解し選択の準備ができる。 ③オープンキャンパス参加の意義夜目的を理解し、実際に取り組むことができる。	①テーマ探究（キャリア甲子園導入） ②科目選択、高校生活デザイン ③オープンキャンパス参加について理解する。進路研究	〈座学〉テーマごとに「ワークシート」を作成し、提出。ポートフォリオにまとめ、自己評価を行う。一部で相互評価を取り入れる。	○	○	○	5
	定期考査						
2学期	①返却された7月の模試結果から自分の学習について振り返り、今後の学習計画を立てることができる。 ②様々な大学の出張講義を受けることにより進学先での生活や雰囲気を体感し希望進路の具体化を図	①模試返却指導 ②大学出張講義・進研模試	〈座学〉テーマごとに「ワークシート」を作成し、提出。ポートフォリオにまとめ、自己評価を行う。一部で相互評価を取り入れる。	○	○	○	6
	③進路探究 ④返却された11月の模試結果や小論文指導の講演から自分の学習について振り返り、冬休み～3学期さらには今後の進路実現にむけての学習計画を立てることができる。	③進路探究（キャリア甲子園への参加） ④模試返却指導･小論文講演会・小論文模試	〈座学〉テーマごとに「ワークシート」を作成し、提出。ポートフォリオにまとめ、自己評価を行う。一部で相互評価を取り入れる。	○	○	○	8
3学期	①大学入試に向けての残り時間を意識し、3年ゼロ学期の意識を高めて今後の学習計画を立てる。 ②進路探究	①大学入試講演会・共通テスト模試 ②進路探究 代表グループの発表等		○	○	○	7
	③今春卒業した生徒の話を聞くことで受験生としての1年間を思い描き、次年度進路実現に向けての学習計画を立てることが出来る。	③卒業生と語る会		○	○	○	2
							合計 35

令和５年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画（3年次）

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間
1学期	4	進路研究	進路選択について講演を聞いて考える	ポートフォリオ、ワークシート等の内容を項目ごとに教員が点検し、評価する。	2
		オリエンテーション	はばたきプランの目的		1
		進路研究	実力テスト結果から振り返りと今後の学習計画について立案		1
	5	進路研究	進路について「手引き」を使って		1
		進路研究	模擬試験の事前指導、志望校選択		1
	6	進路研究	教育実習生から入試や進路選択についての話を聞く。		1
		進路研究	希望分野別進路ガイダンスを受ける		2
	7	進路研究	夏休みの過ごし方について考える		1
		ポートフォリオ整理	1学期の振り返り		1
2学期	8	夏期講習	必要な教科の講習に参加する		
		進路研究	推薦・総合型選抜のガイダンスを受け、進路について考える。		1
	9	進路研究	共通テスト、専門学校それぞれ希望進路に向けたガイダンスを受ける		1
		探究	プレゼンテーション・ワークショップ（NPO16歳の仕事塾）		1
		進路研究	労働法講演会（POSSE）		1
	11	進路研究	大学入試の説明を大学から受ける		2
		進路研究	出願までのスケジュール立案		2
	12	探究	金融トラブルについて知り、問題について考える（SMBCコンシューマファイナンス）		1
		進路研究	後輩に向けて勉強や進路選択についてアドバイスを書く		1
3学期	1	進路研究	共通テスト受験者、進路決定者に分かれてガイダンスを受ける。進路決定者は進路先について調べる。		2
配当時間数の合計					23